

保護者の皆様へ（実家庭）

♪ 楽しい夏休みにするために ♪

7月21日（金）から8月31日（木）までの間、子どもたちが楽しみにしている夏休みになります。長い期間、家庭での生活が中心になります。開放感から交通事故にあたり、問題を起こしたりしやすい期間でもあります。



学校では、子どもたちにめあてをもたせて、自主的な生活ができるよう指導いたします。つきましては、家庭や地域の中でお子様の行動に目を配っていただき、楽しい夏休みを過ごすことができますように、以下の点について御理解・御協力をお願いいたします。

■ 学習について

- 学習もリズムが大切です。「朝の涼しい時間に学習する習慣をつける」など、計画を立てて、しっかり行わせましょう。
- 「午前9時まで」「昼食時」「夕食時」は友達を遊びに誘わない、受け入れないようにお願いします。

■ 安全な生活について

- 遊びの注意
 - (1) 花火は大人の人と一緒にするとともに、危険な種類の花火はやらないように御指導お願いします。
 - (2) 車や田畑などへのいたずらは、大きな問題であることを伝えてください。
 - (3) ゲームセンターへの子どもだけでの出入りはさせないでください。
 - (4) 空き家や工場現場など、危険な場所へは近づかないよう、近所の危険な場所を確認しておいてください。
 - (5) エアガンやBB弾のような危険な遊び道具は、買い与えないようにお願いします。
 - (6) 今年度は、花火大会やひたちなかまつりが再開される予定です。行くときは、保護者と一緒をお願いします。

◇子どもたち自身が注意すること

- (1) 道路では、必ず左右を確認し、飛び出しは絶対にしないよう御指導をよろしくお願いします。
- (2) 車の通りが少ない道路でも、遊ばないように御指導をお願いします。
(スケートボード、ローラブレード等)

【子どもだけでの自転車に乗れる範囲は、以下の通りです。】



- ◆1、2年生：自分の家のまわり
※ 家の人に話してから乗ります。
- ◆3、4年生：地域内の車の少ないところ
- ◆5、6年生：学区内の安全なところ

ヘルメットを必ず着用する。
～飛び出し・並走はしません～

※ 学校で決めている範囲は以上のとおりです。その範囲の中で、御家庭で十分に指導していただき、保護者の責任と監督のもとで乗せるよう、よろしく願いいたします。

- 水の事故

◇子どもたち自身が注意すること

- (1) 水の事故が増えています。大人が一緒でも転落すると危険なので、十分注意をしてください。
- (2) 近くの池や川、田んぼや用水路など、子どもたちだけの釣りや水遊びは、絶対に避けてください。
- (3) 海やプールなどへは、保護者の同伴をお願いします。水に入るときは、体調の確認を十分にしてください。（空腹時、食前食後など）

- 携帯電話・インターネットによる事故や犯罪に巻き込まれないために
保護者に見せられない内容はトラブルにつながります。日頃からチェックするようにしてください。
インターネットへの書き込みは控えるなど、使い方については、よく話し合い、ルールを決めて、保護者が一緒に使うようにしてください。
※ ゲームの通信機能についても保護者の方が内容を確認してください。
- 外出について
 - (1) 出かける前に、「行き先」「一緒に行く友だち」「帰宅時刻」を必ず確認してください。
 - (2) 帰宅したら、「どこで、どのようなことをしたか」をお子様にたずねるようにしてください。
 - (3) 「映画館」「ショッピングセンター」などへは、子どもたちだけでは行かせないようにしてください。
 ※ 学区内にある安心感からか、子どもだけで行かせてしまうことがあるようですが、実際に子どもたちだけで行ったときにトラブルに巻き込まれたケースもありますので、注意が必要です。
 - (4) 午後5時までには、必ず帰宅するように声をかけてください。
 - (5) 出先での「公共物」へのいたずらや「万引き」など、犯罪に手を染めることのないよう十分に話し合ってください。
 - (6) お子様の手元にある現金や、出かけるときの所持金の額を把握しておいてください。

■ 健康な生活について

- 規則正しい生活を心がけてください。
- 虫歯やその他の病気のある人は、夏休み中に治療してください。
- 食中毒や伝染病の予防を心がけてください。
- 熱中症に注意しながら、お子様にあった体力づくりをするように声かけをお願いします。
- 引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のために、マスクの着用と石鹸を使ったこまめな手洗いに心がけてください。ただし、**熱中症予防のため、外ではマスクを外すことも大切です。**



■ 変質者・痴漢に遭わないために

◇子どもたち自身が注意すること

- (1) 一人歩きをしないようにします。特に人通りのないところ、暗いところはとても危険です。
- (2) 見ず知らずの人に誘われても、「車には絶対に乗らない」「絶対について行かない」「むやみに口を聞かない」などを守ります。
- (3) 連れて行かれそうになったら、「大声で助けを求めろ」「近くの家へ逃げ込む」「近くの大人に知らせる」ことを必ず行います。
- (4) 子どもだけで留守番をしているときは、来客があっても絶対に家に入れないようにします。

◆保護者が注意すること

- (1) 保護者が留守の家では、遊ばせない・家の中に入らせないようにしてください。
- (2) 遊びに来た友だちは、約束の時刻までには帰宅させるか、送って行くようにしてください。
- (3) 子どもが訪問した家庭には、電話を入れたり訪問したりして、保護者同士の交流を深めることもおすすめします。

■ 不審電話について

様々な方法で個人情報を聞き出そうとする人やグループがあります。「親切にしてもらったお礼がしたいので、連絡先を教えてください。」と、電話番号などを聞き出したり、役所や宅配会社を装い、住所や電話番号を聞き出そうと電話をしてきたりということが市内でも報告されています。

新たな手口として、子どもを使ってかけてきたという事例もあるとのこと。悪用される恐れがあると同時に、情報を流出された方への多大な迷惑がかかります。不用意に住所や電話番号を知らせないでください。